

室内楽塾 in 東京 2026

FINAL CONCERT



PROGRAM

ブラームス………… ピアノ五重奏曲 へ短調 作品34	荒川浩毅・神成美玖里・田中里奈・大山平一郎・葦野真美
シューマン………… ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44	水野魁政・福水万里子・花岡桜・大山平一郎・葦野真美
ベートーヴェン… 弦楽五重奏曲 八長調 作品29	島崎友貴乃・花岡桜・坂田柚季・中恵菜・池田虎之介
ブラームス………… 弦楽六重奏曲 第1番 変ロ長調 作品18	田中里奈・大島みなみ・中恵菜・大山平一郎・倉上樹・池田虎之介

※一部抜粋となります

2026.3.16(月) 19:00開演(18:30 開場)

会場：トーキョーコンサーツ・ラボ

東京メトロ東西線「早稲田駅」下車徒歩6分(2・3b出口より穴八幡神社方面へ)
東京メトロ副都心線「西早稲田駅」下車徒歩10分(2番出口)

料金：一般 3,000円 学生 1,000円(自由席)

※2026年3月13日～3月15日のレッスンも公開いたします。詳しくは裏面へ



主催：一般社団法人 Music Dialogue 協力：一般社団法人 住宅遺産トラスト

お問い合わせ info@music-dialogue.org

※演目や曲順、出演者は都合により変更になる場合があります。

室内楽塾 in 東京 2026

室内楽塾とは

2017年の東京からスタートし、2021年より京都と2拠点で、若手演奏家を発掘し、室内楽を学ぶ場として室内楽塾を継続して開催してきました。

自ら応募し選ばれた若手演奏家が、演奏家としての土台となる音楽作りの考え方や楽譜の読み込み方、アンサンブルの基礎から演奏テクニックまで、室内楽の経験を積んだ演奏家と共演しながら学びます。

最終演奏会では、3日間の朝から晩までの濃密な音楽づくりのプロセスを経た受講生たちが、その成長ぶりをお客様に披露いたします。

また、3日間のレッスンを公開し、皆様に音楽づくりのプロセスと、成長の過程をご覧いただけます。



©Taira Tairadate

公開レッスンのスケジュール

※途中入退場自由

■3月13日(金)

9:30 -12:00	ブラームス	弦楽六重奏曲
12:15 -14:45	ベートーヴェン	弦楽五重奏曲
14:45 -17:15	ブラームス	ピアノ五重奏曲
17:15 -19:45	シューマン	ピアノ五重奏曲

■3月14日(土)

9:30 -12:00	ブラームス	ピアノ五重奏曲
12:00 -14:30	ベートーヴェン	弦楽五重奏曲
14:35 -17:05	シューマン	ピアノ五重奏曲
17:15 -19:45	ブラームス	弦楽六重奏曲

■3月15日(日)

9:30 -12:00	ブラームス	ピアノ五重奏曲
12:00 -14:30	ベートーヴェン	弦楽五重奏曲
14:35 -17:05	ブラームス	弦楽六重奏曲
17:15 -19:45	シューマン	ピアノ五重奏曲

■会場 旧園田高弘邸 (自由が丘駅徒歩10分)

■料金 一般 1,500円 学生 無料

※事前申し込みが必要です。入場券1枚につき1名様、申込日のみ有効です。

※スケジュールは都合により、変更になる可能性があります。

講師紹介



©Taira Tairadate

大山 平一郎
ヴィオリスト/
Music Dialogue 芸術監督

英国のギルドホール音楽学校を卒業。1972年マルポロ音楽祭にヴィオリストとして参加後数多くの国際音楽祭に招待され、またアイザック・スターン、園田高弘、リン・ハレルなど著名な音楽家とも共演する。1973年カリフォルニア大学助教授に就任。1979年にジュリーニ率いるロサンゼルス・フィルハーモニー管弦楽団の首席ヴィオラ奏者に任命され、1987年にプレヴィンから同楽団の副指揮者に任命される。その後サンタフェ室内楽音楽祭芸術監督、九州交響楽団の常任指揮者、大阪交響楽団の音楽顧問・首席指揮者等を歴任。福岡市文化賞、文部科学大臣賞(芸術祭優秀賞)を受賞。現在、The Lobero Theatre Chamber Music Project(米国サンタ・バーバラ)芸術監督、CHANEL Pygmalion Days室内楽シリーズのアーティスト・ディレクター。



©Tomoko Hidaki

中 恵菜
ヴィオリスト/
Music Dialogue アーティスト

桐朋女子高等学校音楽科を経て同大学卒業。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンマスター課程修了。Quartet Amabileのヴィオラ奏者として、第65回ARDミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門 第3位に入賞、2019年YCA国際オーディション優勝、その他多数優勝。第22回ホテルオークラ音楽賞受賞。今井信子、マルタ・アルゲリッチ、ダン・タイソンの各氏と共演。テレビ朝日「題名のない音楽会」NHK-FM「リサイタル・パッショ」などに出演。B→C、ヴィオラスペース、東京・春・音楽祭、宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、北九州国際音楽祭、その他多数出演。CHANEL Pygmalion Days室内楽アーティスト。Music Dialogueアーティスト。元新日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ首席奏者。使用楽器は宗次コレクションより特別に貸与されたMontagnana。



Music Dialogue とは

Music Dialogueは2014年2月に、指揮者・ヴィオリスト大山平一郎を芸術監督として設立し、室内楽という「対話」を通して世界で活躍できる若手演奏家を育てていくことや、室内楽の楽しみを多くの人々に体験していただくことを目的として、様々な活動を展開してまいりました。室内楽を通して、若手演奏家が経験豊富な演奏家と一緒に真の音楽づくりを学ぶことで、アンサンブルの本質を理解できる優れた演奏家になるためのお手伝いをしていきたいと私たちは考えています。

Music Dialogueでは、気鋭の若手演奏家と経験豊富な演奏家によるコンサートと公開リハーサルの「ディスカバリー・シリーズ」、室内楽塾の修了生に演奏機会を提供する「ヤング・アーティスト・パフォーマンス」、そのほか各種のコラボ企画を開催しています。

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <https://music-dialogue.org/>

